

安倍総理のスピーチ

安倍晋三総理のアジア4カ国歴訪では、海上の安全や経済分野での相互協力など各国首脳ときまざまな協議をした。総理の行動に対して中国・新華社通信は一連の行動を大きく報道した。安倍内閣の動向を相当意識しているようだ。

最後の訪問国ベトナムでは、ハノイのシェラトンホテルで記者会見が行われた。この席で安倍総理は当社の海外事業について紹介された。これは予想していなかったことだが、安倍総理のスピーチの内容を紹介したい。

「20年前、フィリピンに進出した三重県の金型メーカーは、長年、人材育成に取り組んできました。今や、高度な金型も現地のスタッフの皆さんだけで、製作できるそうであります。4年

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 26



会見で安倍総理が当社を紹介した
(首相官邸のホームページ)

人を育てるのがニッポンのやり方

前、インドネシアでも合併会社を設立し、同じようにインドネシアの若者たちの技術向上に取り組んでいます。日本の技術を単に持ち込むのではなく、人を育て、しっかりとその地に根付かせる。これがニッポンのやり方です」と述べられた。

その時インドネシアにいた私に社員からラインが届いた。「ハノイで安倍総理が当社のことを紹介されたので、鳥肌が立った」と。今回のミッションに参加したとはいえ、当社のことを取り上げてもらったことは、光栄至極だった。駐在社員は「マジっすか!」と喜んでた。

日本の金型メーカーにとってもあり

がたい内容だった。帰国後、多くの異業種の方からも喜びの言葉が届いた。

「伊藤さん、政府は何百億円の利益を出す大手企業だけではなく、われわれ中小製造業にも関心を持っているんですね」と感激したのは金型メーカーだけではない。熱処理メーカーや切削メーカー、食品加工メーカー、陶磁器メーカーも感激したのだ。

海外で私が現地の役人に会うと、彼らは日本の中小製造業の技術を高く評価してくれていることがわかる。日本政府にも「日本の中小製造業の具体的な強さ」が海外の役人からも伝わっているに違いない。

平成29年度補正予算では、モノづくり中小企業の経営向上支援事業を発売に行っていたが、わが業界の一層の努力を忘れてはならない。